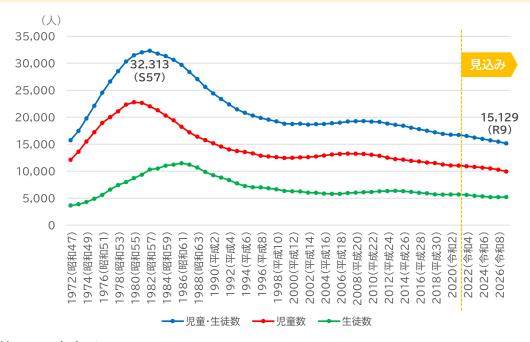
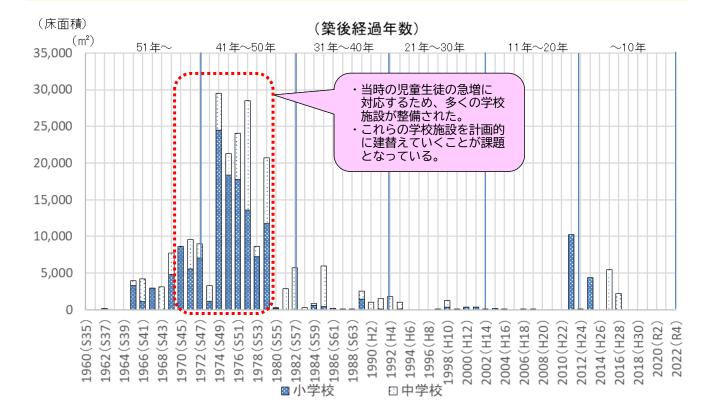
○ 市内の児童・生徒数の推移

- 児童・生徒数ともに、減少傾向で推移
- 令和9(2027)年には、ピーク時の半数以下まで減少する見込み



○ 学校施設の老朽化

- 小中学校の多くは 1970 年代に整備されており、築後 40 年以上が経過し老朽化が進行
- これらの学校施設は建替え等が集中的に発生することが見込まれ、費用等の平準化が必要



○ 市内小中学校の学校規模、令和4年度の各学校児童生徒数・学級数

- 11 学級以下の小規模な学校から 25 学級以上の大規模な学校まで、様々な規模の学校が点在
- 小中学校ともに 25 学級以上の大規模な学校が減少、11 学級以下の小規模な学校が増加

■小学校(規模別)※特別支援学級は除く

■中学校(規模別)※特別支援学級は除く





■学校別・学年別の児童生徒数と学級数(令和4年度)

小学校																													
小学校													中学校																
No.	当长夕	上段:児童数、下段:学級数				上段:児童 数計		学校名	上段:児童数、下段:学級数 上段:児童 数計							No.	学校名	上段:生徒数、下段:学級数		上段:生徒 数計									
INO.	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	下段:学級 数計※	NU.	子权石	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	下段:学級 数計※		IVU.	子权石	1年	2年	3年	特支	下段:学級 数計※		
1	上尾	89	94	80	99	60	77	15	514	12	平方東	65	58	58	43	41	35	4	304		1	上尾	214	268	246	18	746		
	小学校	3	3	3	3	2	2	2	16(18)	12	小学校	2	2	2	2	2	1	2	11(13)		'	中学校	6	7	7	4	20(24)		
2	中央	100	106	77	85	80	93	12	553		原市南	62	80	85	74	89	96	10	496		2 太平 89	99	111	11	310				
	小学校	3	4	3	3	2	3	2	18(20)	13	小学校	2	3	3	2	3	3	2	16(18)			中学校	3	3	3	2	9(11)		
3	大谷	95	103	104	105	131	122	15	675	14	鴨川	71	69	83	82	77	73	7	462		3	大石	290		295	6	902		
	小学校	3	3	3	3	4	4	3	20(23)	Ľ.	小学校	3	2	3	3	2	2	2	15(17)			中学校	8	8	8	2	24(26)		
4	平方	41	50	38	34	55	48	7	273	15	芝川	88	98	88	93	92	80	9	548		4	原市	176	175	196	17	564		
<u> </u>	小学校	2	2	2	1	2	2	2	11(13)		小学校	3	3	3	3	3	2	2	17(19)			中学校	5	5	5	3	15(18)		
5	大石	136	160	150	137	146	161	11	901	16	16	16	瓦葺	78	73	66	64	67	64	6	418		5	上 平 中学校	172	184	171	4	531
	小学校	4	5	5	4	4	5	3	27(30)				小学校	3	3	2	2	2	2	2	14(16)				5	5	5	2	15(17)
6	原 市 小学校	97	94	96	90	110	111	14	612	17	17	17	今 泉 小学校	92	98	98	82	80	67	9	526		6	西 中学校	166	176	177	11	530
_		3	3	3	3	3	3	2	18(20)	-		3	3	3	3	2	2	2	16(18)				5	5	5	2	15(17)		
7	上 平 小学校	84	78	80	69	85	68	9	473	18	西 小学校	85	79	83	67	62	80	8	464		7	東 中学校	236	197	223	14	670		
		3 87	3 103	100	2 115	3 115	2 113	20	16(18) 653			3 129	3 119	3 120	2 114	2 110	2 128	9	15(17) 729				6 53	5 46	6 69	7	17(19) 175		
8	富士見 小学校	3	3	3	3	3	3	3	18(21)	19	東 町 小学校	4			3	3		2	22(24)		8	大石南 中学校	2	2	2	2	6(8)		
		30	22	27	30	28	35	8	180		平方北	22	16	21	16	19	21	9	124			瓦葺	125	116	121		362		
9	尾山台 小学校	1	1	1	1	1	1	2	6(8)	20	小学校	1	1	1	1	1	1	2	6(8)		9	凡 耳 中学校	4	3	4	_	11(11)		
	東	127	135	137	117	134	134	29	813	21	大石北	108	129	114	118	125	120	15	729			南	153	129	175	_	457		
10	水 小学校	4	4	4	3	4	4	5	23(28)		21	21	小学校	4	4	4	3	4	3	3	22(25)		10	中学校	5	4	5	_	14(14)
	大石南	25	42	46	43	33	51	10	250	22	上平北	38	32	39	39	40	45	9	242	li		大 谷	111	105	143	8	367		
11	小学校	1	2	2	2	1	2	2	10(12)		小学校	2	1	2	1	1	2	2	9(11)		11	中学校	3	3	4	2	10(12)		
×.	1 クラ	スの	上限	人数	1	~ 3	年:	3.5		- 6年	: 4) 入	•	_	•	•				'	※ 1	クラ	スの	上限	人数	4	0人		
, • •	※1クラスの上限人数 1〜3年:35人 4〜6年:40人 ※学級数計の()は特別支援学級を含む学級数									※学級数計の()は特別支援学級 を含む学級数																			

■上尾市における学校規模の定義

学校規模	小学校の基準	中学校の基準
小規模校	6~11学級	3~8学級
準小規模校		9~11学級
適正規模校	12~18学級	12~18学級
準適正規模校	19~24学級	19~24学級
大規模校	25~30学級	25~30学級

出典:上尾市学校施設更新計画基本方針(R1.12)

○ 学校規模の適正化

- 学校では、子供たちが集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合う中で考える力や 問題解決能力などを磨いていきます。
- 子供同士や教職員との人間関係を築く中で、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、 社会性や規範意識などについて学んでいきます。



一定規模の集団生活の中で、活気に満ちた学校生活を送ることができる学校規模(学級数・教職員数)が必要

■学校の規模によるメリット

─学習面─ 【凡例 ○:メリット】

	小規模化	大規模化
児童・生徒の一人ひとりに目が届きやすい	0	
きめ細かな指導が行いやすい	0	
個別の活動機会を設定しやすい	0	
多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて資質や能力をさらに伸 ばしやすい		Ο
運動会などの学校行事の集団教育活動に活気が生じやすい		0
中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい		0
多様な学習・指導形態をとりやすい		0
部活動等の選択の幅が広がる		0

一生活面—

	小規模化	大規模化
人間関係が深まりやすい	0	
異学年間の縦の交流が生まれやすい	0	
クラス替えができる(豊かな人間関係の構築、多様な集団の形成)		0
組織的な指導体制を組みやすい		0

一財政面・運営面—

	小規模化	大規模化
全教職員間の意思疎通が図りやすい	0	
学校が一体となって活動しやすい	0	
施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい	0	
バランスのとれた教職員配置を行いやすい		0
子供一人あたりにかかる経費が小さい		0
清掃や管理が行き届きやすい		0

―その他―

	小規模化	大規模化
保護者や地域社会との連携が図りやすい	0	
PTA活動等において保護者の負担を分散しやすい		0

[※]中央教育審議会 初等中等教育分科会 小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会(第8回)資料を参考に作成

○ 国の方向性「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中央教育審議会)

- 令和3年1月に「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現(答申)」を公表し、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿を提示
- 学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての子供たちの可能性を引き出す、 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

個別最適な学び

- ①指導の個別化(学習内容の確実な定着)
- ・必要に応じた重点的な指導、指導方法等の工夫②学習の個性化(学習を深め、広げる)
- ・一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供

協働的な学び

- ・異なる考え方が組み合わさり、より良い学びを 生み出す
- ・多様な他者(※)との協働 ※クラスメイト、異学年・他校の子供、地域の人など

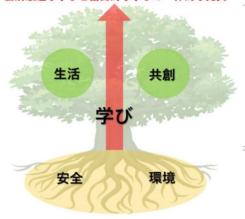
一体的に充実

それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

○ 国の方向性「新しい時代の学びを実現する学校施設の姿 (ビジョン)」

- 国(文部科学省)では、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方を検討
- 令和4年3月に最終報告書を公表し、5つの姿の方向性を提示

全ての子供たちの可能性を引き出す、 固別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿 (イメージ図)

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

- 生活 新しい生活様式を踏まえ、<u>健やかな学習・生活空間を実現</u>する

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全 》 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現する

出典:新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告 (R4.3/学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

○ 上尾市学校施設更新計画の方向性(素案)

- 安全・安心な学校 (長寿命化改修や改築により安全安心の教育環境を確保、避難所利用)
- 新しい学びに対応した学校 (GIGAスクール構想の実現、最新の教育設備を備えた学校)
- 地域に開かれた学校 (公共施設の複合化、体育館や校庭を地域住民・地域団体へ開放)
- ◆ 快適な学校 (環境配慮した省エネルギー化、高齢者や障がい者へ配慮したバリアフリー化)

新しい時代の学びに相応しい魅力ある学校を整備し、子供たちのために「より良い教育環境」を実現